

令和5年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 あやめが丘 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

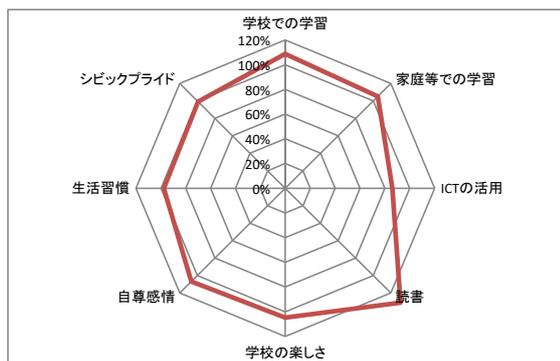
(1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.4	59
全国	9.4	67	10.0	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	全体的に県や全国の平均正答率を上回っている。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	学習した漢字を文の中で正しく使う問題	
	努力が必要な問題	「読むこと」において、目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つける問題	
算数	全体的な傾向や特徴など	「数と計算」「データの活用」領域においては、全国平均を上回っている。 「図形」領域においては、全国平均を下回っている。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	示された日常生活の場面を解釈し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断する問題	
	努力が必要な問題	さまざまな図形の意味や性質について問う問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「読書」に関する項目については、全国平均を大きく上回っている。 ・ 学習面では、「課題解決に向けて自分から取り組む」「学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる」内容について全国平均を大きく上回る回答がみられる。 ・ 「学校に行くのは楽しいと思う」「友達関係に満足している」の問いに対して約90%の児童生徒が肯定的に回答している。 ・ 「ICTの活用」に関する項目について、授業中の活用・授業以外の時間での活用どちらも全国平均を下回っている。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- 学校全体で、児童が「わかった」「おもしろい」と思える授業づくりの継続
- ICTの効果的な活用の推進（調べ学習や発表場面での活用の推進、交流場面における活用の工夫等）

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ICTの活用を取り入れた家庭での学習習慣づくりの継続（ドリルアプリの活用）
- 基本的な生活習慣やスマホ・インターネット等の適正な使い方に関する指導や保護者との連携